

第23回与一の里 大田原市産業文化祭

10月29日・30日 (県北体育館ほか)



力作がそろった『大田原市教育祭』



市指定無形民俗文化財
『福原の餅つき唄』披露



多くの出展企業や来場者でおおにぎわい



荒和志会(荒町自治会青年部)から益金を
市の子育て支援基金に寄付いただきました



優雅に観客を魅了『エレガントフラダンス』



与一くんはどこでも大人気

小中学校教育祭、企業展、各種団体・サークルによる展示即売などが行われ、見て、食べて、体験して、楽しむことができるイベントが多数開催。市内外から大勢の来場者が訪れ、大変にぎわいました。



10月24日 下侍塚古墳のこも巻き
(下侍塚古墳)

二十四節気の一つ「霜降」にあたるこの日、国指定史跡「侍塚古墳」の松にこもを巻きつける作業が行われました。侍塚古墳松守会(平野精一会長)の会員約40名が2～3人で1組となり、樹齢数十年～130年のアカマツ約130本に手際良くこもを巻きつけました。巻きつけたこもは来年3月の「啓蟄」の日に取り外され、こもに入り込んだ害虫ごと焼却処分されます。



10月28日 ミヤコタナゴ生息状況調査
(羽田ミヤコタナゴ生息地保護区生息水路)

市の魚であるミヤコタナゴの生息状況調査が、環境省などにより行われました。調査には、羽田小学校の5年生も参加。残念ながらミヤコタナゴの生息は確認できませんでしたが、タモロコやドジョウなどの数は昨年より増えており、現在ミヤコタナゴ再導入に向けた取り組みが進められています。